

令和6年度 群馬県内高校生の 就職・Uターン意識調査

群馬県 産業経済部 労働政策課

群馬県内高校生の就職・Uターン意識調査

調査概要

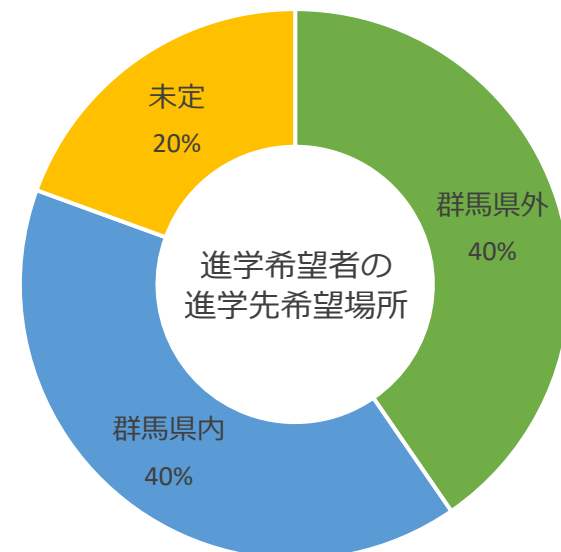
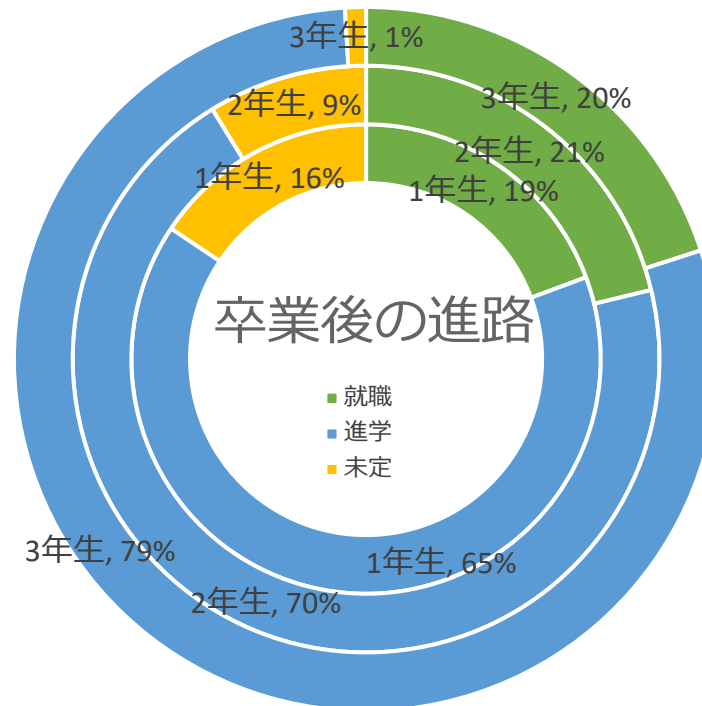
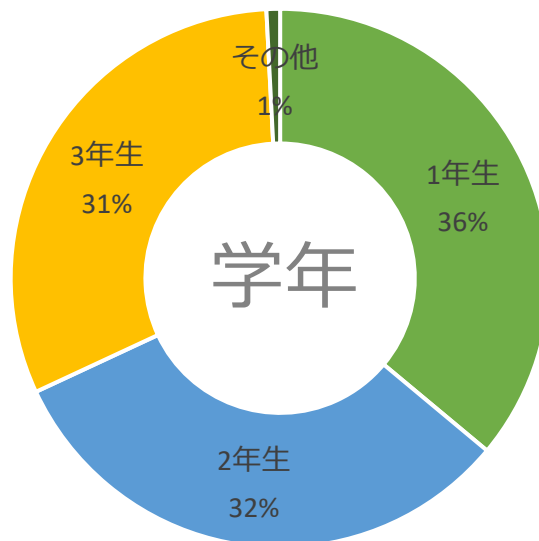
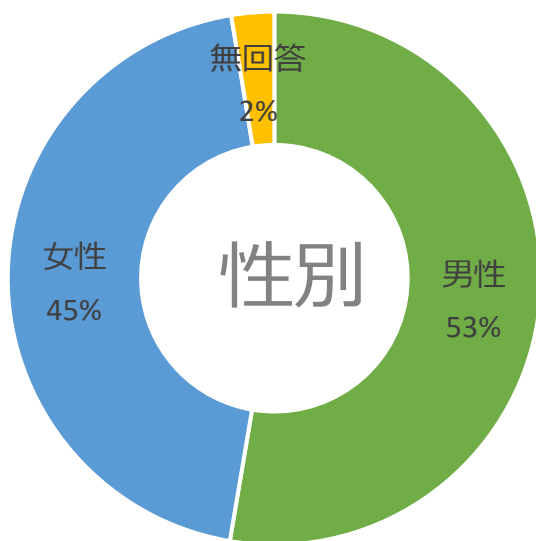
- **調査目的** 県内高校生の将来の就職・Uターン意向の把握
- **調査期間** 令和6年9月3日～9月25日
- **調査対象** 県立高校在学生（1～3年） 33,424名（※）
- **回答数** 13,382名／回答率40.0%
- **調査方法** オンライン調査（Microsoft Forms）

群馬県内高校生の就職・Uターン意識調査

アンケート調査結果 目次

- 1 回答者属性
- 2 将来の就職に関する意向（全体、県外進学・県内就職希望者のみ）
- 3 就職先希望地域
- 4 県内就職を希望する生徒の意向
- 5 県外就職を //
- 6 就職先希望地域が未定の生徒の意向
- 7 県外進学希望生徒のUターン意向
- 8 Uターンのために生徒が求める支援策
- 9 県内就職支援の方向性

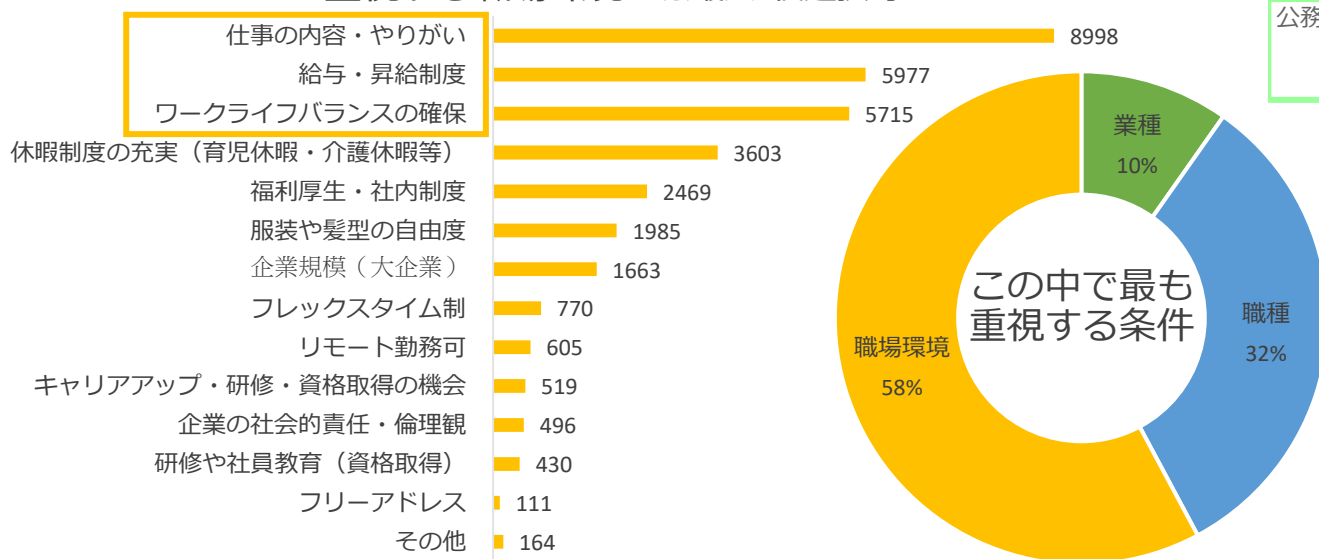
1 回答者属性



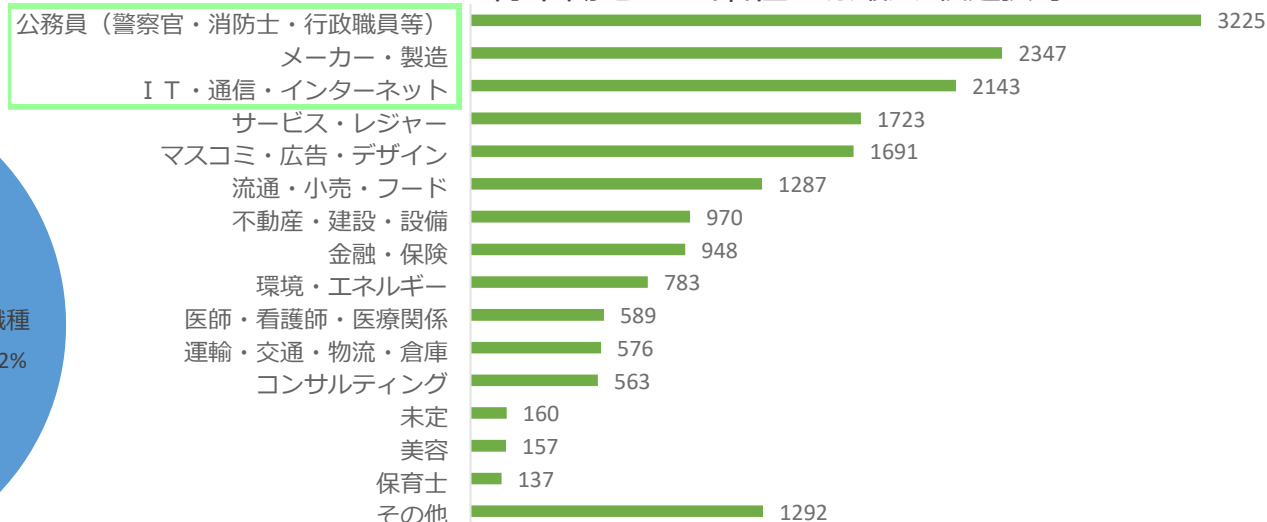
- 男女比はほぼ均等（男性53%、女性45%、無回答2%）
- 学年比率は1年生が36%と最も多かった。
ただし、特定の学年に偏ることなく、全体としてバランスの取れた回答が得られた。
- **卒業後の進路は全学年で就職が2割程度、進学が7割程度**で、学年が上がるにつれて未定と回答した生徒は減少
- **進学希望者の進学先については「群馬県内」と「群馬県外」が40%と均等という結果**であった

2-1 将来の就職に関する意向(全体)

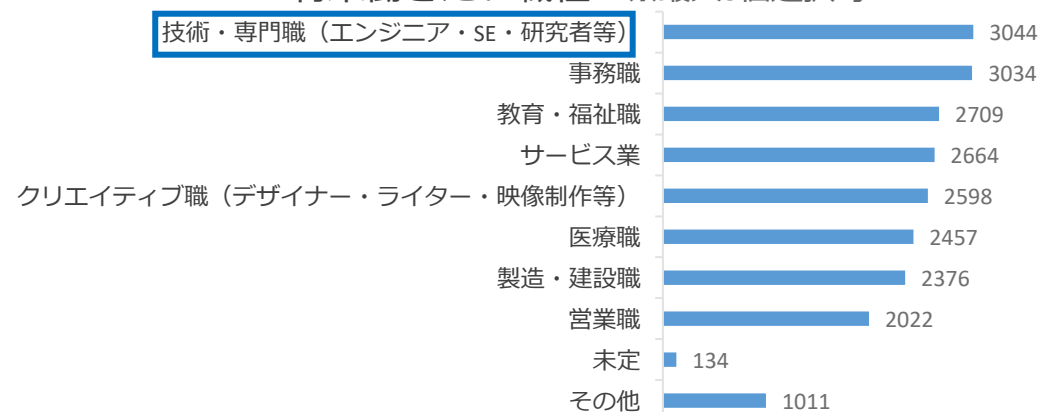
重視する職場環境 ※最大3個選択可



将来働きたい業種 ※最大3個選択可



将来働きたい職種 ※最大3個選択可



■ 業種・職種・職場環境のうち最も重視するのは職場環境という結果となり、具体的な業種や職種は未定でも、働き方のイメージはある生徒が多いことがわかった

■ 職場環境では「仕事の内容・やりがい」が最も多く、次いで「給与・昇給制度」、「ワークライフバランスの確保」という回答が多かった

■ 「ワークライフバランスの確保」や「休暇制度の充実（育児休暇・介護休暇等）」などは一定の割合で回答があり、プライベートと仕事のバランスを重視したいという意向が確認できた

■ 業種としては「公務員」「メーカー・製造」「I T系」への希望が多かった

■ 職種の希望としては、エンジニアやSEなど「技術・専門職」と「事務職」が同等の割合で多く、文系と理系でそれぞれ人気職が異なると推測される

検討すべき支援策

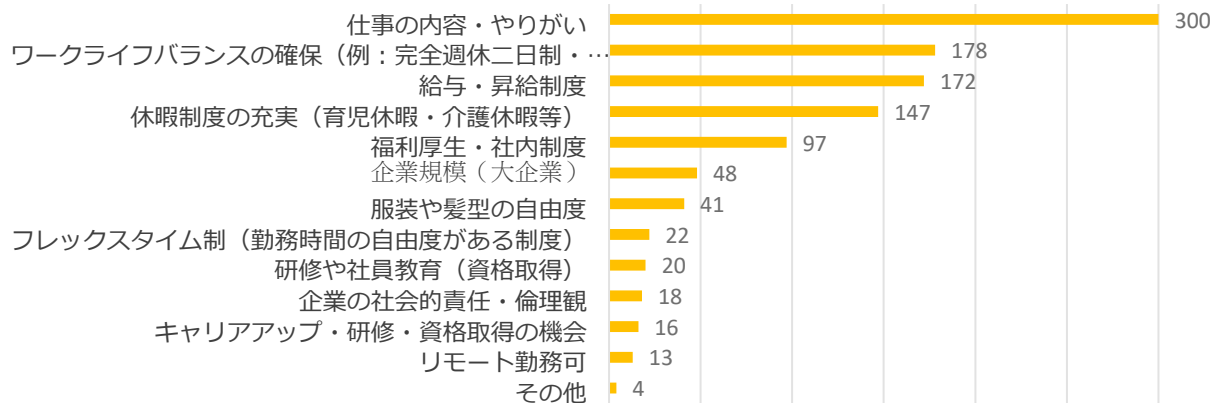
- ・ 働きやすい環境づくりなど、選ばれる企業になるための取組支援
- ・ 生徒が求める企業の誘致

2-2 将来の就職に関する意向 (県外進学・県内就職希望者のみ)

2-1のうち「県外進学」かつ「県内就職」を希望する生徒（＝新卒Uターン希望生徒）のみで抽出

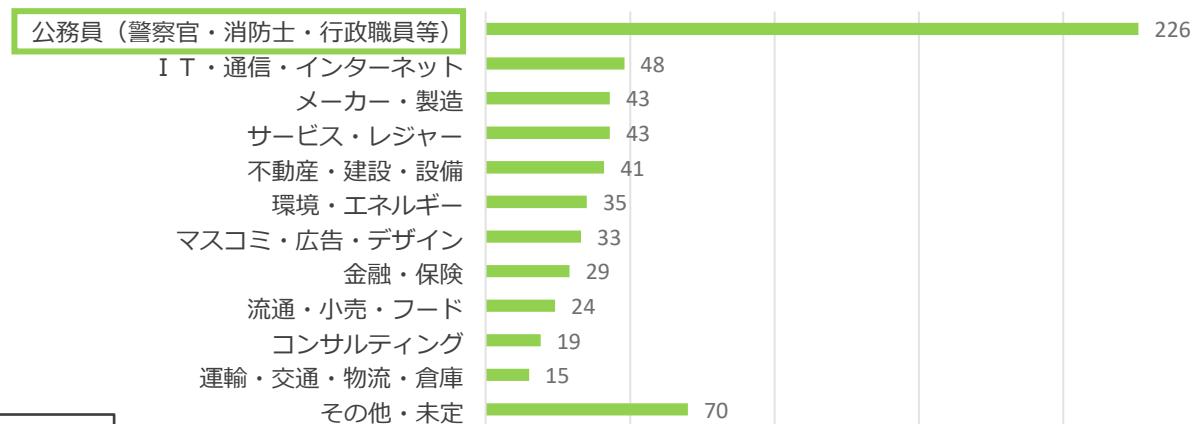
重視する職場環境（県外進学・県内就職希望生徒に限る）

※最大3個選択可



将来働きたい業種（県外進学・県内就職希望生徒に限る）

※最大3個選択可

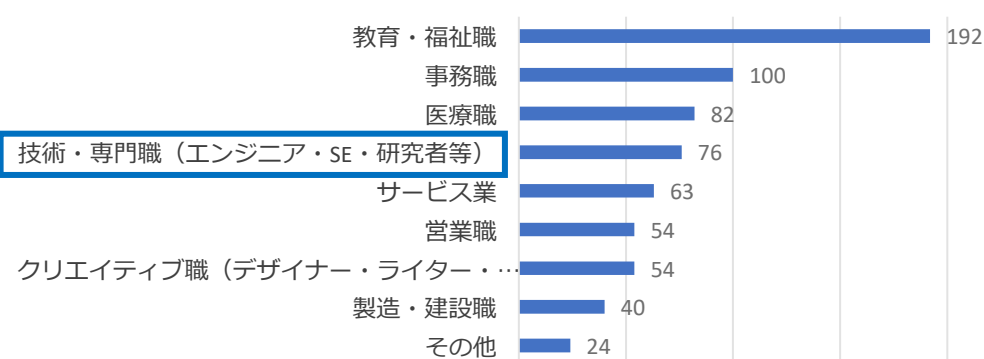


【新卒でUターン就職を考えている生徒の傾向】

- 職場環境「仕事内容・やりがい」を重視するという回答が最も多い傾向は全体と変わらなかった
- 業種としては「公務員」と答えた割合が圧倒的となった。これは、Uターン就職先の県内企業情報が不足又は偏りがあるためと考えられる
- 職種は、全体で1位・2位だった「技術・専門職（エンジニア・SE・研究者等）」「事務職」の回答が極端に減った
- 以上から【求めている就職先が県内にない】という認識が生徒にあるのではないかと推測される

将来働きたい職種（県外進学・県内就職希望生徒に限る）

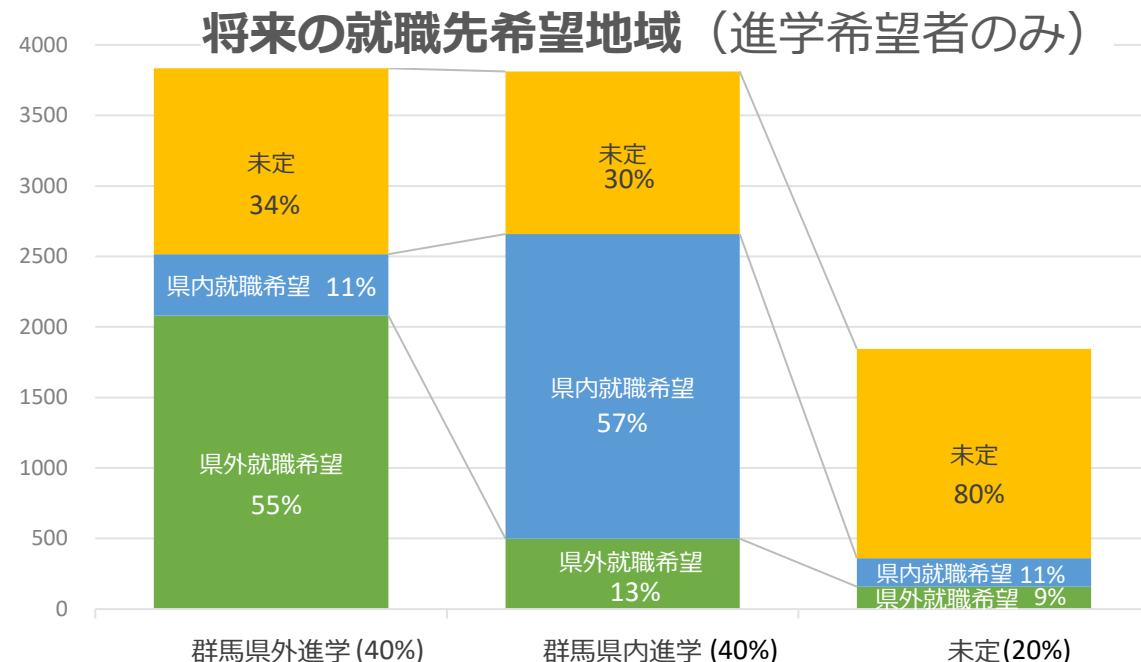
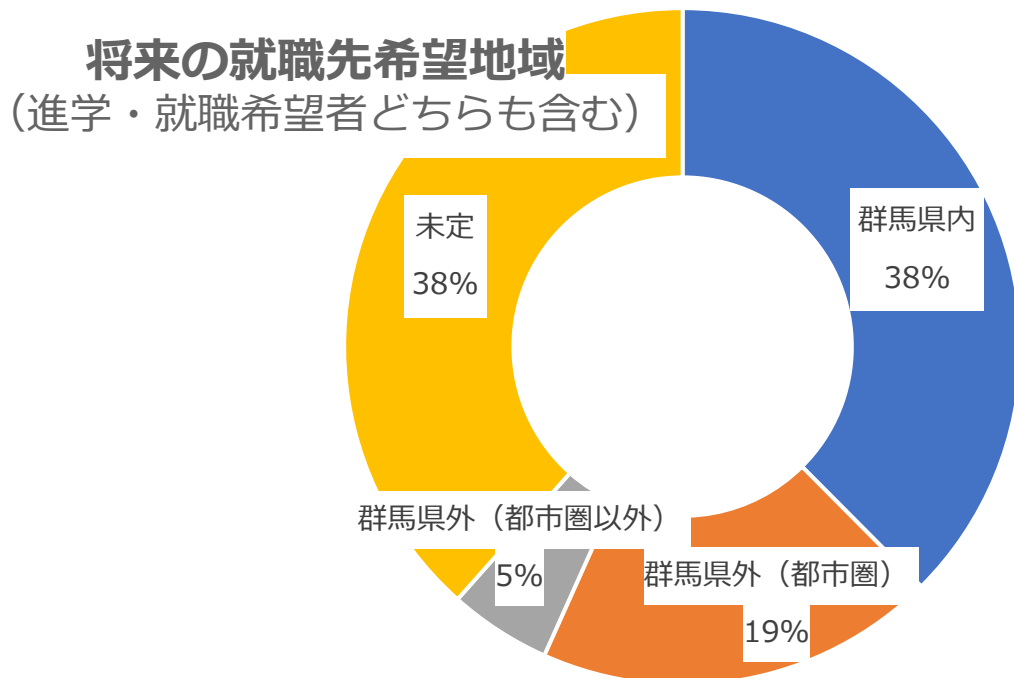
※最大3個選択可



検討すべき支援策

- ・ 県外進学前など、早期の県内企業等に関する情報提供
- ・ 進路決定時の主な相談相手である、保護者や学校関係者への情報提供

3 就職先希望地域



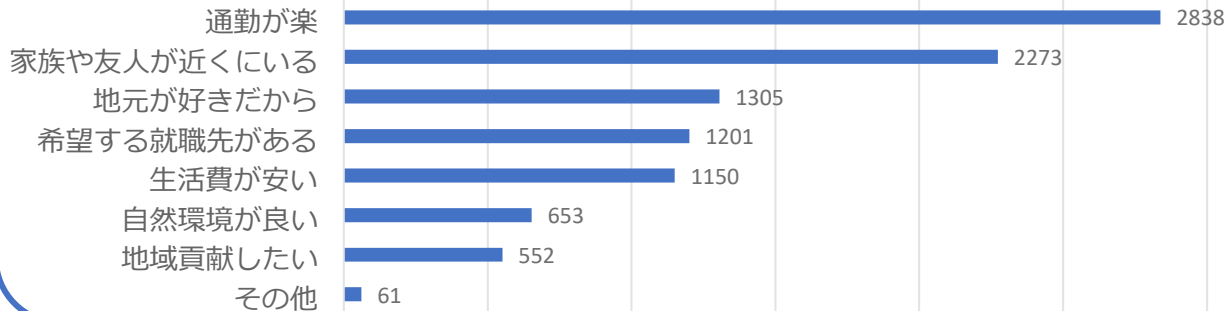
- 就職先希望地域は「群馬県内」と「未定」が同数で38%と最も多く、「群馬県外」は24%であった
- 県外進学希望者のうち「群馬県内就職」は11%、「群馬県外就職」は55%で、**県外に進学を希望する生徒の、新卒でのUターン志向の低さが目立った**。一方「未定」も34%おり、この中から県内就職を希望する生徒を増やすことがUターン率の上昇に繋がると考えられる
- 県内進学希望者では「群馬県内就職」57%、「未定」30%で、**県内進学希望者は県内就職への意向が強いため、県内進学希望者の県内就職意向を継続させ、「未定」の生徒を県内就職に目を向けさせることが重要**

検討すべき支援策

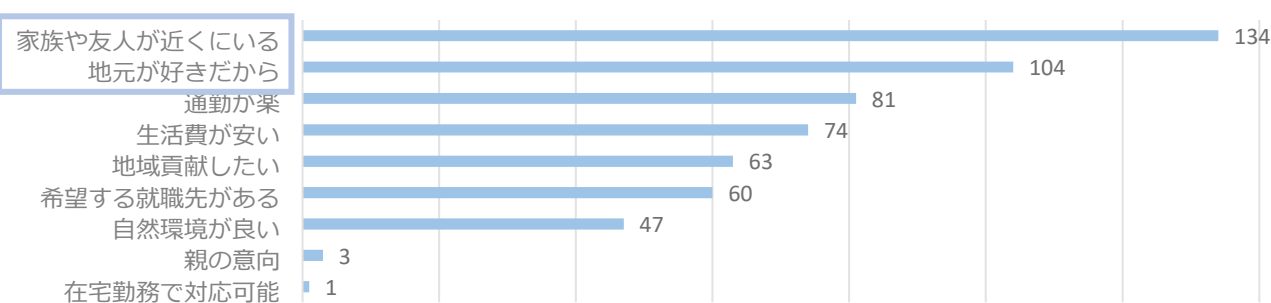
- ・ 在学時だけでなく卒業後も、企業情報提供など継続支援
- ・ 県内大学との連携など、県内進学者の県内定着支援

4 県内就職を希望する生徒の意向

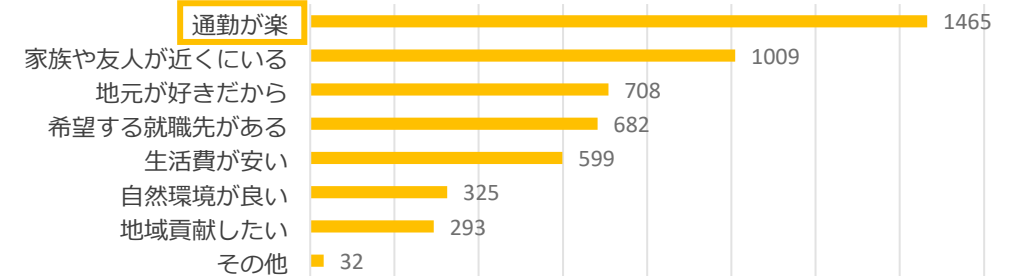
県内就職を希望する理由（全体） ※最大3個選択可



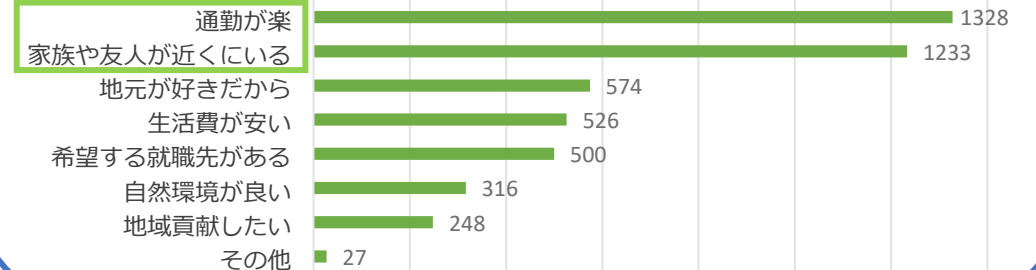
県内就職を希望する理由 ※最大3個選択可
(県外進学率50%以上の高校在学学生を抽出)



【男性】



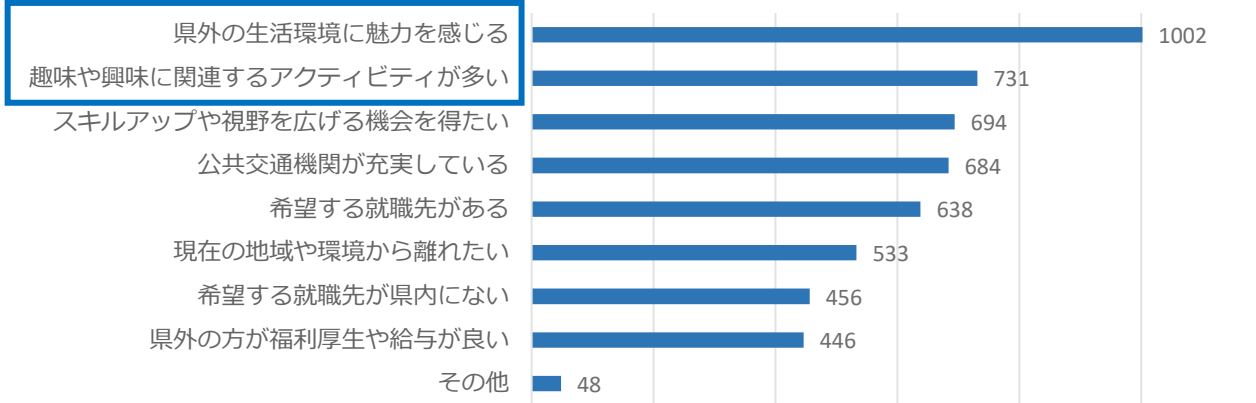
【女性】



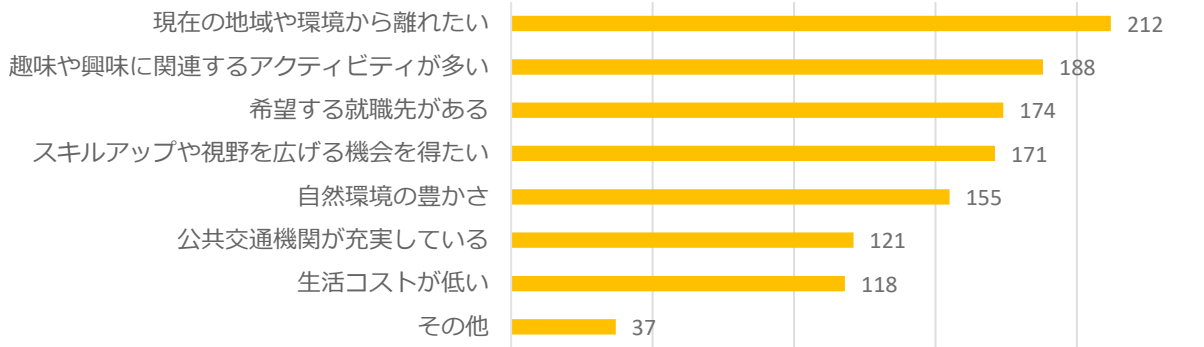
- 県内就職を希望する理由としては「通勤が楽」が最も多く、通勤の利便性などに魅力感じている生徒が多いことがわかった
- 「家族や友人が近くにいる」「地元が好き」といった、慣れた環境での生活に魅力を感じ、県内就職を希望する生徒も多い。これは県外進学率が50%以上の高校在学学生で抽出したところ傾向が強まった。
- 男女別だと、男性は「希望する就職先がある」を選んだ生徒が女性より多かった
- 一方、女性は男性より「家族や友人が近くにいる」を選んだ生徒が多く、安心感のある環境で働きたいという意向が強い
- 個別回答では「親の意向」「災害の少なさ」を挙げる生徒も少なからずいた

5 県外就職を希望する生徒の意向

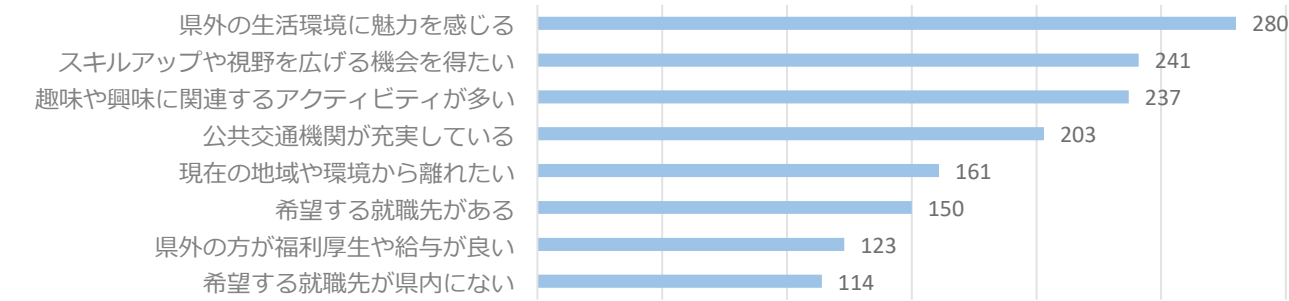
県外（都市圏）で就職したい理由 ※最大3個選択可



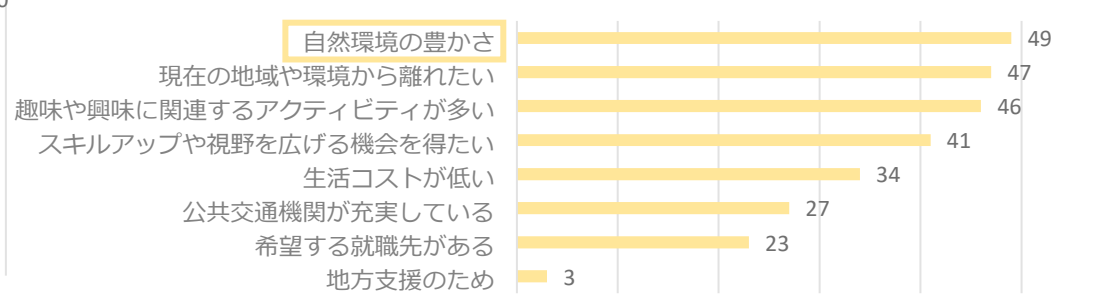
県外（都市圏以外）で就職したい理由 ※最大3個選択可



県外（都市圏）で就職したい理由 ※最大3個選択可
(県外進学率50%以上の高校在学学生を抽出)



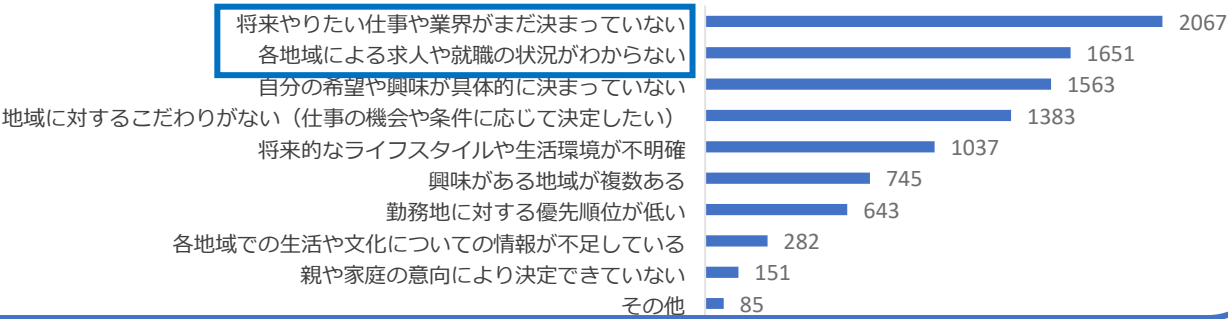
県外（都市圏以外）で就職したい理由 ※最大3個選択可
(県外進学率50%以上の高校在学学生を抽出)



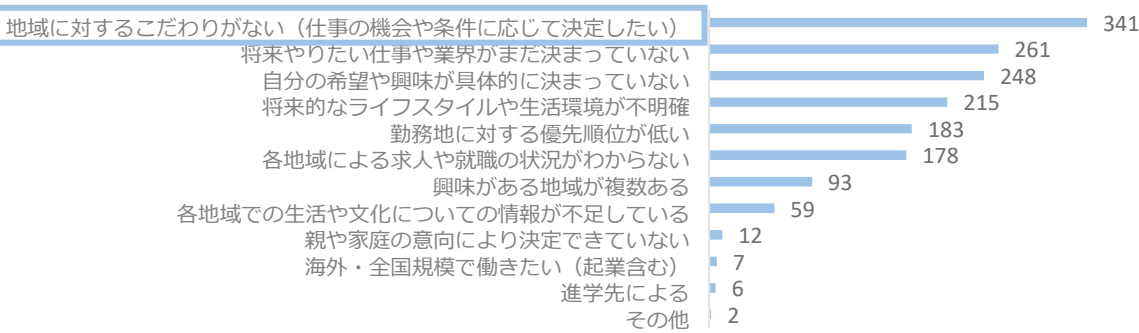
- 県外での就職を希望する生徒に理由を聞いたところ、県外でも都市圏と都市圏外で異なる結果となった
- 都市圏に就職したい理由とすると「都市圏の生活環境の魅力」「趣味や興味に関するアクティビティの充実」など利便性の高い生活とともにライフスタイルに合った活動ができることに魅力を感じている生徒が多かった
- 県外進学率が50%以上の高校在学学生で抽出しても傾向は大きく変化はなかったが、都市圏以外の県外で就職したい理由として「自然環境の豊かさ」を挙げる生徒の割合が増えた

6 就職先希望地域が未定の生徒の意向

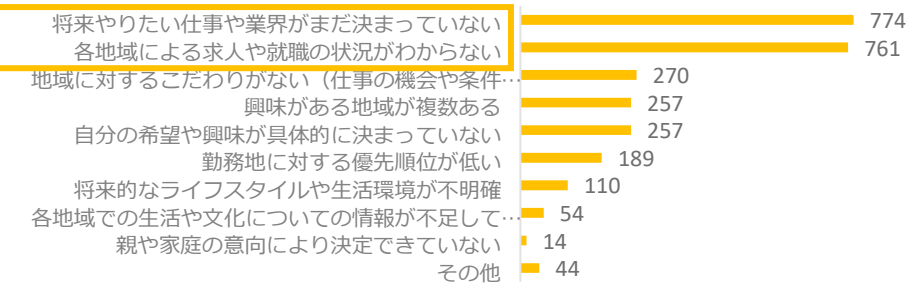
就職先希望地域が未定の理由 ※最大3個選択可



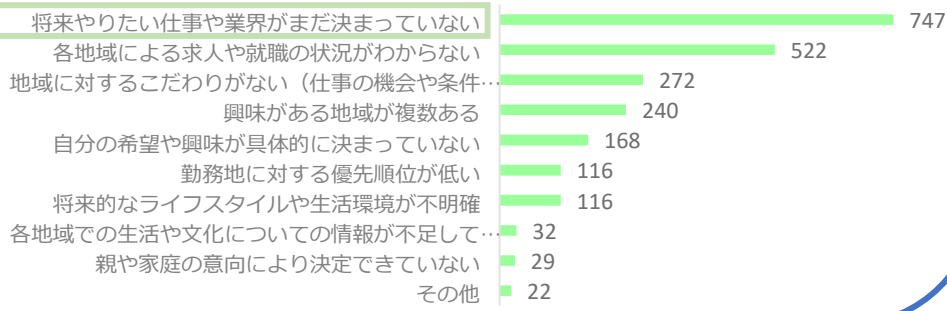
就職先希望地域が未定の理由 ※最大3個選択可
(県外進学率50%以上の高校在学学生を抽出)



【男性】



【女性】



■ 将来の就職先希望地域が未定の理由とすると「やりたい仕事や業界自体が未定」「求人や就職の状況がわからない」といった回答が多かった。また、女性は特にやりたい仕事や業界自体が未定と答えたケースが最も多い。

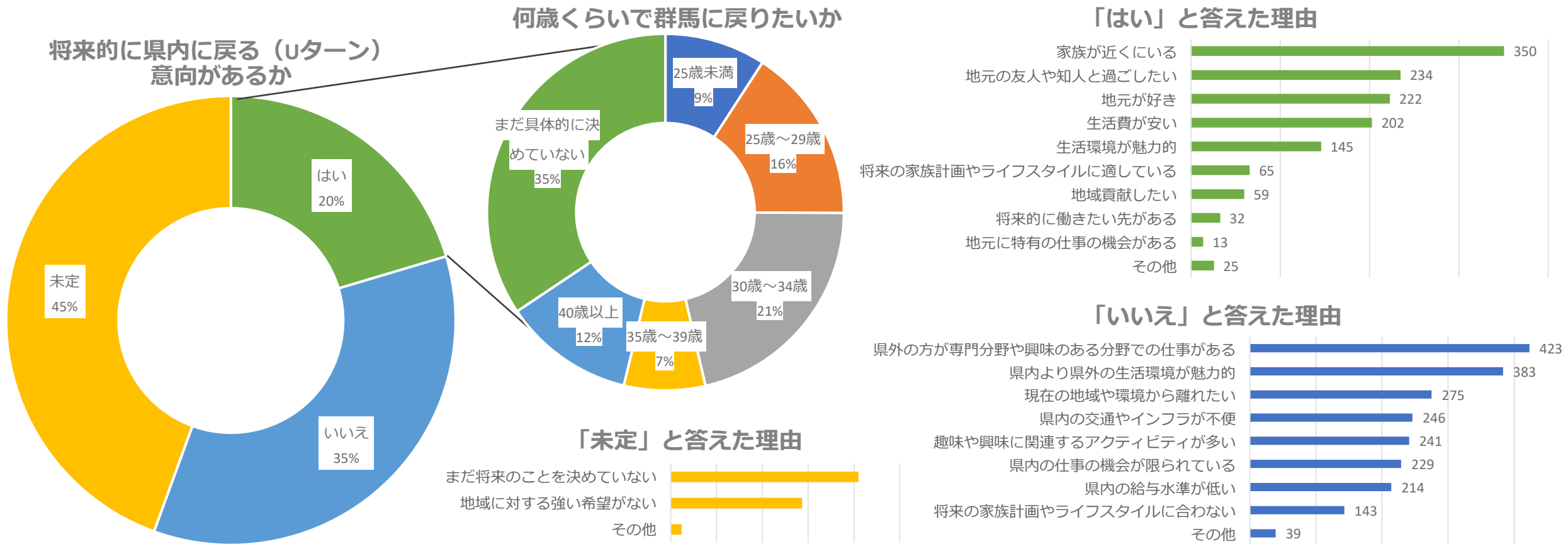
■ 以上から、早期に県内の仕事や就職先の状況などを情報提供し、県内での仕事の意識づけを行うことが県内就職へのアプローチに繋がると考えられる

■ また、県外進学率が50%以上の高校在学学生で抽出したところ、「地域に対するこだわりがない」という回答が増えた。このことから、県内でも希望する仕事や良い条件で働くことができるという意識付けを早期に行うことも重要である。

検討すべき支援策

- ・ 県外進学前など、早期の県内企業等に関する情報提供
- ・ 進路決定時の主な相談相手である、保護者や学校関係者等への情報提供
- ・ 県内での魅力あるライフスタイルの訴求・学生が求める企業の誘致

7 県外進学希望生徒のUターン意向

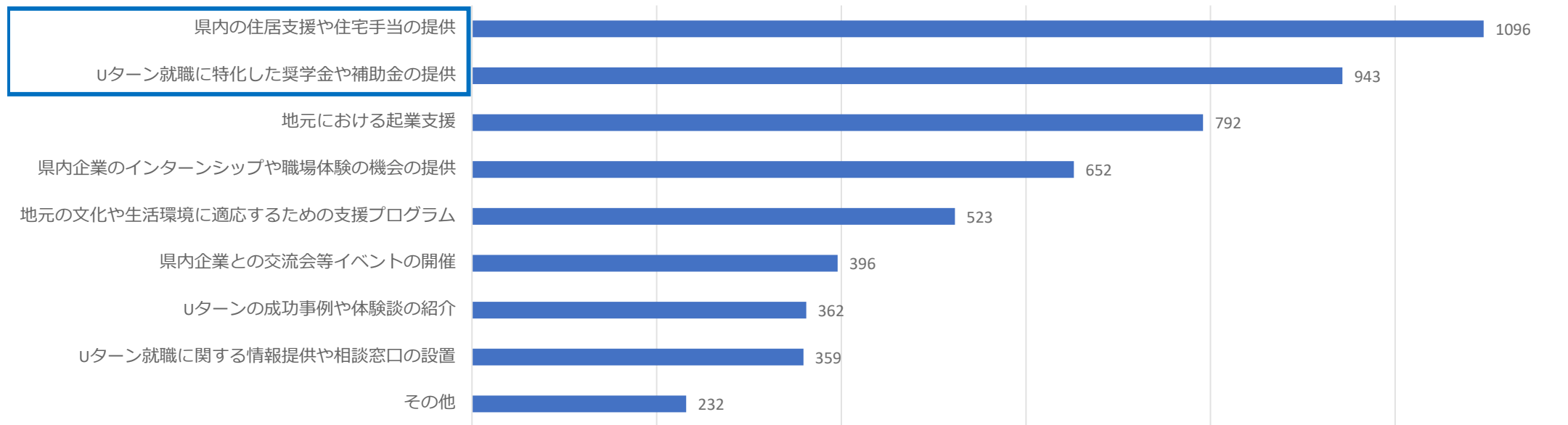


■ 県外進学希望生徒と進学先の希望地域が未定の生徒に対し、将来的に群馬県に戻る（Uターンする）意向があるかを聞いたところ、意向ありは20%、なしは35%、「未定」が45%であった。最も多い「未定」の生徒にUターン就職の魅力伝え、意向を持ってもらうこともUターン意向を効果的であると推測される。

■ Uターン意向ありの生徒が、群馬に戻りたいと考えている年齢は「決めていない」が35%と最も多かったが、次いで「30～34歳」が21%、「25～29歳」が16%と、県外である程度のキャリアを積んでから県内に戻りたいという意向が確認できた

8 Uターンのために生徒が求める支援策

県内に戻るために求める支援策 ※最大3個まで選択可



■ 生徒が求める支援策としては「住居支援や住宅手当の提供」「Uターン就職に関する奨学金や補助金」が最も多く、**金銭的な負担を軽減する内容が求められている**

検討すべき支援策

- ・ 奨学金返還支援など、選ばれる企業となるための取組支援
- ・ 就職活動に係る交通費、就職時の移転費などへの負担軽減策

9 県内就職支援の方向性

○アンケート結果等から、検討すべき施策のなかでも、これまで十分でなかった以下について、特に取組を強化したい。

【重点項目】

- ①高校生などに対して、県外進学前など、早期の県内企業等の情報提供
- ②進路決定時の主な相談相手である、保護者や学校関係者等への情報提供
- ③県内での魅力あるライフスタイルの訴求

【県内企業の皆様へ】

県内企業の皆様においては、引き続き、U・Iターン事業について連携した取組をお願いするとともに、アンケート結果について、採用活動などの参考にいただければ幸いです。